

令和6年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市岩室健康増進センター			
管理者名	岩室観光開発株式会社	指定期間	令和2年4月1日	～ 令和7年3月31日
担当課	西蒲区産業観光課			
所在地	新潟市西蒲区石瀬3331番地1			
根拠法令				
設置条例	新潟市岩室健康増進センターライフスタイル条例			
施設概要	<p>【浴室部分】 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積405.91m² 内風呂男女各1、外風呂男女各1、休憩室1</p> <p>【休憩部門】 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積742.98m² 和室大広間1、中広間1、小和室（10畳×2室、8畳×1室）、食堂・厨房</p>			

施 設 置 目 的
市民に保健及び保養並びに交流の場を提供することにより、余暇活動、健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的として、新潟市岩室健康増進センターを設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等
<p>【基本理念】</p> <p>(1) 市民に保健及び保養並びに交流の場を提供することにより、余暇活動、健康の増進及び福祉の向上に努める。 (2) 幅広い年齢層が地域の拠点として利用できる施設を目指す。</p> <p>【管理運営方針】</p> <p>施設の設置目的を達成するために以下の点に留意して事業を行う。</p> <p>(1) 市民が広く利用する公の施設であるという性格を十分認識して管理運営を行う。 (2) 利用者の安全を最優先に考え、利用者にとって快適な環境を提供する。 (3) 日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を良好の状態に保つ。 (4) 利用者の多様なニーズに応えるため、創意工夫のある企画や効率的な運営等により、質の高いサービス提供を行う。 (5) 地域との連携にあたっては、公の施設の管理運営の公益性に鑑み、公平・中立を是としてその運営にあたる。</p>

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	入館者数	年51,000人以上	年56,851	B	
	入館者の満足度	積極的な利用者アンケートにつとめ、「満足」が80%以上	達成している	B	
	広報・PRの充実	ホームページアクセス数 月1,300件以上	月2,228	A	大幅に達成されている。
	自主事業の実施	施設の設置目的に合致した 自主事業の実施	実施できなかった	C	実施されていない。
	苦情・要望に対する回答	苦情・要望には原則5営業日以内に回答	その場で説明対応している	B	
財務	市の歳入の増加	年15,300千円以上	年20,494千円	A	大幅に達成されている。
	健全な事業運営	収支計画に基づく収入の確保及び費用の執行、収支状況の記録	実施している	C	指定管理事業収支が計画より大幅に赤字となっている。
業務	事業の適正な実施	事業計画に基づく事業の実施	実施している	B	
		業務マニュアルの作成	作成している	B	
	事業報告	定められた期日までに提出	遵守している	B	
	地域との連携	年1回以上実施	実施しているヒルクライム・マラソン協賛	B	
	安全安心の確保、緊急時の対応の適切さ	緊急連絡網、危機管理マニュアルの作成、防災・避難訓練の実施	作成・実施している	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	実施している	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
	衛生管理の徹底	新潟市公衆浴場法施行条例の遵守	遵守している	B	
人材	配置人員条件の充足	防火管理者、AED講習受講者の配置	配置している	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	B	
	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	知識や技能向上を図るためにの研修の実施	実施している	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れてなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

基本理念、管理運営方針を遵守し、市民の余暇活動、健康の増進に寄与した。新型コロナも5類に移行し、休憩室、貸部屋を開放し入館者の数も新型コロナ発症の前よりも増え感染拡大防止のガイドラインに沿って施設利用者の安全確保に努めつつ利用者の意見、要望を把握し、再利用に繋がるよう対応した。再度入館者の本人確認の実施等を市担当課に指導を頂き開始できた。入館料値上げ前の回数券売り上げが大幅に伸びた。

所管課による総合評価(所見)

入館者の満足度の高い運営を行い、入館者数の目標を達成し、ホームページのアクセス数も大幅に増加した。また、入館者の割引適用に係る本人確認の厳格な実施や入館料値上げなどの対応を適切に行いながら、市の歳入の増加を大幅に伸ばしている。一方で、収支状況は赤字であり、自主事業は施設の設置目的に沿った実施ができていない。健全な経営となるよう経費の削減等に努め、また計画のみで実施に至らない事業ではなく、確実に実施できる事業から取り組み、入館者の健康への寄与につながることを期待する。